

【タイトル】12月研修会

【部会名】 税務研究部会

【日時】平成20年12月 5日(金)

PM 3:00 ~ 4:15

【場所】法人会館

【演題】「税務の職場」

【講師】山崎 審理担当調査官

【内容】東京国税局の機構の説明等もあり盛り沢山だったが、講師の税務経歴が興味深かった。



- (1) 税務大学校東京研修所で(全寮制)1年間、法律、簿記を学ぶ
- (2) 署の法人部門で内部事務。・申告書の機械入力、納税証明書の発行。
同時に大学の夜間部で4年間学ぶ。
- (3) 署の総務部門で文書收受、職員の給料計算。
- (4) 署で外回りの調査・調査手法の研修も受ける。
- (5) 局で間接諸税、特に印紙税で外回りの調査(資本金や、売り上げの大きい企業を)
- (6) 局の総務部会計課で予算要求の取り纏め・予算管理・役務調達等を。
特に物品購入では、
随意契約が出来ないので、100万円以上の案件は全て入札。
予定価格の作成、入札実施、契約、支払い、トラブル対応等をした。
単年度予算なので1年契約が全て。3月は4月契約の更新もあり忙しい。
関係書類を作成するので大変で、入札前10日迄に公告を掲げなければ
ならないのに、いつもギリギリだった。
- (7) 署の審理担当部門で、法人会の担当・来署者や電話での相談への対応・説明会
(決算法人や新設法人)の講師等を。
調査審理事務では、修正申告の顛末の報告書をチェック。
3年に1回の会計検査院の監査を受ける為の準備(資本金は4千万円、税額は
1千5百万円、消費税は5億円以上の法人の決算申告が対象)。
お若いのに、多くのキャリアを積んでおられるのに感服した。

最後に移転価格税制(通常行われる取引価格とは異なる価格によって関連会社間で取引が行われた場合において、その取引の価格を正常な価格に引き直して課税をする制度)についても解説があった。